

本場食品衛生検査所

理化学検査情報

Vol.73 2023 No.5
令和5年10月発行



今号の内容:令和5年7月から9月までに検査した

残留農薬検査結果
放射性物質検査結果
総水銀検査結果
自然毒検査結果
動物用医薬品検査結果

横浜市医療局中央卸売市場本場食品衛生検査所

電話: 045-441-1153

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/shoku/shokuhineisei/>

1 残留農薬検査

令和5年7月から9月までの残留農薬検査は、国産農産物20検体(10種)について実施しました。このうち農薬を検出したのは7検体(4農薬)で、残留基準値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

(1) 国産農産物検査結果

検出値、基準値:検体1kgあたりに含まれる農薬のmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	収去場所	検出農薬	結果	基準値
サツマイモ	茨城県	令和5年7月13日	本場市場	なし	不検出	なし
コマツナ	埼玉県	令和5年7月13日	本場市場	なし	不検出	なし
メロン	熊本県	令和5年7月13日	本場市場	なし	不検出	なし
キャベツ	群馬県	令和5年7月13日	本場市場	なし	不検出	なし
キャベツ	青森県	令和5年7月13日	本場市場	なし	不検出	なし
サラダ菜	静岡県	令和5年8月3日	本場市場	フルフェノクスロン	0.02	10
ブドウ	山形県	令和5年8月3日	本場市場	クレソキシムメチル	0.13	15
サツマイモ	茨城県	令和5年8月3日	本場市場	なし	不検出	なし
キュウリ	福島県	令和5年8月3日	本場市場	クレソキシムメチル	0.03	0.5
キャベツ	群馬県	令和5年8月3日	本場市場	なし	不検出	なし
ブドウ	山形県	令和5年8月31日	本場市場	アゾキシストロピン	0.08	10
				クレソキシムメチル	0.13	15
ニガウリ	群馬県	令和5年8月31日	本場市場	なし	不検出	なし
サツマイモ	茨城県	令和5年8月31日	本場市場	なし	不検出	なし
キャベツ	群馬県	令和5年8月31日	本場市場	なし	不検出	なし
キャベツ	北海道	令和5年8月31日	本場市場	フルフェノクスロン	0.01	0.5
キャベツ	群馬県	令和5年9月14日	本場市場	なし	不検出	なし
キュウリ	茨城県	令和5年9月14日	本場市場	なし	不検出	なし
ブドウ	山梨県	令和5年9月14日	本場市場	フルジオキシニル	0.1	5
ミズナ	茨城県	令和5年9月14日	本場市場	フルフェノクスロン	0.38	10
レタス	群馬県	令和5年9月14日	本場市場	なし	不検出	なし

検出した農薬について

農薬名	種類	特徴
アゾキシストロビン	ストロビルリン系殺菌剤	1992 年に開発された。ミトコンドリアのチトクローム bc1 複合体の Qo 部位に結合することで電子伝達系を阻害し、菌の呼吸を阻害すると考えられる。なお、本化合物の有効成分は立体異性体のうち E 体のみである。
クレソキシムメチル	ストロビルリン系殺菌剤	作用機構はミトコンドリア内のチトクローム電子伝達系阻害による呼吸障害で、結果として孢子発芽および菌糸伸長を阻害すると考えられている。日本では 1997 年に初めて農薬登録された。
フルジオキシニル	フェニルピロール系殺菌剤	1984 年にスイスで合成された。主に植物体の表層に留まった状態で抗菌活性を発揮する。作用機序は糸状菌の原形質膜に作用してグリセロール生合成を阻害することにより物質の透過性に影響を及ぼし、アミノ酸やグルコースの細胞内取り込みを阻害することで抗菌作用を示すことが示唆されている。日本では 1996 年に農薬登録され、2011 年に国内において、防カビ目的で収穫後の農作物に使用するための添加物として指定されている。
フルフェノクスロン	ベンゾフェニル系殺虫剤	作用機序はキチン質の合成阻害によるものである。欧米諸国や中南米、アフリカ諸国等 40 か国以上で農薬登録されており、日本では 1993 年に初めて登録された。

参考:内閣府食品安全委員会 食品安全情報システム 評価書

環境省 水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について
農業工業会

2 放射性物質検査

令和5年7月から9月までの放射能検査は、水産物23検体、農産物9検体の合計32検体について実施しました。基準値を超えた検体はありませんでした。

放射性セシウムの基準値はセシウム134とセシウム137の合計で設定されています。

- 乳児用食品については1kgあたり50ベクレル以下
- 飲料水については1kgあたり10ベクレル以下
- 牛乳については1kgあたり50ベクレル以下
- その他、一般食品については1kgあたり100ベクレル以下

(1) 水産物検査結果

セシウム検出値、合計:1kgあたりのベクレル数

検体名	産地	漁獲水域	買取日	セシウム134	セシウム137	セシウム	備考
				検出値	検出値	合計	
カツオ	千葉県	房総沖勝浦港	令和5年7月7日	不検出	不検出	不検出	天然
メバチマグロ	宮城県	鹿島日立沖気仙沼港	令和5年7月7日	不検出	不検出	不検出	天然
ニシン	北海道	北海道青森沖根室港	令和5年7月7日	不検出	不検出	不検出	天然
ジンドウイカ(ヒイカ)	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年7月14日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラメ	青森県	青森県沖下北港	令和5年7月14日	不検出	不検出	不検出	天然
サケ	北海道	北海道・青森県沖花咲港	令和5年7月28日	不検出	不検出	不検出	天然
カツオ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和5年7月28日	不検出	不検出	不検出	天然
マダラ	北海道	北海道青森沖根室港	令和5年7月28日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラメ	青森県	青森県沖下北港	令和5年8月4日	不検出	不検出	不検出	天然
チダイ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和5年8月4日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森県沖八戸港	令和5年8月4日	不検出	不検出	不検出	天然
マコガレイ	青森県	青森県沖下北港	令和5年8月25日	不検出	不検出	不検出	天然
チダイ	宮城県	宮城県沖石巻港	令和5年8月25日	不検出	不検出	不検出	天然
マサバ	青森県	青森県沖八戸港	令和5年8月25日	不検出	不検出	不検出	天然
トビウオ	岩手県	三陸北部沖大船渡港	令和5年9月1日	不検出	不検出	不検出	天然
ブリ(イナダ)	北海道	青森県沖恵山港	令和5年9月1日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	北海道	日本太平洋沖合北部花咲港	令和5年9月1日	不検出	不検出	不検出	天然
チダイ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和5年9月8日	不検出	不検出	不検出	天然
ヤリイカ	宮城県	三陸南部沖石巻港	令和5年9月8日	不検出	不検出	不検出	天然
ヒラメ	青森県	青森県沖下北港	令和5年9月8日	不検出	不検出	不検出	天然
マイワシ	北海道	北海道沖花咲港	令和5年9月29日	不検出	不検出	不検出	天然
サンマ	宮城県	日本太平洋沖北部気仙沼港	令和5年9月29日	不検出	不検出	不検出	天然
マダイ	青森県	青森県沖横浜港	令和5年9月29日	不検出	不検出	不検出	天然

(2) 農産物検査結果

セシウム検出値、合計:1 kgあたりのベクレル数

検体名	産地	買取日	セシウム 134 検出値	セシウム 137 検出値	セシウム合計	備考
キュウリ	福島県	令和 5 年 7 月 27 日	不検出	不検出	不検出	露地
キャベツ	青森県	令和 5 年 7 月 27 日	不検出	不検出	不検出	露地
ナス	岩手県	令和 5 年 7 月 27 日	不検出	不検出	不検出	ハウス
未成熟インゲン	福島県	令和 5 年 8 月 18 日	不検出	不検出	不検出	露地
トマト	福島県	令和 5 年 8 月 18 日	不検出	不検出	不検出	露地
モモ	福島県	令和 5 年 8 月 18 日	不検出	不検出	不検出	露地
ナス	群馬県	令和 5 年 9 月 22 日	不検出	不検出	不検出	露地
ナシ	福島県	令和 5 年 9 月 22 日	不検出	不検出	不検出	露地
レンコン	茨城県	令和 5 年 9 月 22 日	不検出	不検出	不検出	露地

3 総水銀検査

令和 5 年 7 月から 9 月までの魚介類の総水銀検査は、10 検体(8 魚種)について実施しました。このうち、暫定的規制値を超えた検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

魚介類の水銀の暫定的規制値:検体 1 kgあたり総水銀 0.4 mgかつメチル水銀 0.3 mg

総水銀検査結果

検出値:検体 1 kgあたりに含まれる水銀のmg数 (PPM)

検体名	産地	備考	収去日	検出値
ブリ(ワラサ)	鹿児島県	養殖	令和 5 年 7 月 6 日	0.11
マダイ	熊本県	養殖	令和 5 年 7 月 6 日	0.10
カンパチ	鹿児島県	養殖	令和 5 年 7 月 6 日	0.13
ブリ(ハマチ)	鹿児島県	養殖	令和 5 年 7 月 6 日	0.17
シマアジ	高知県	養殖	令和 5 年 7 月 6 日	0.26
マサバ	岩手県	天然	令和 5 年 9 月 28 日	0.14
トビウオ	岩手県	天然	令和 5 年 9 月 28 日	0.04
マイワシ	北海道	天然	令和 5 年 9 月 28 日	0.01
マイワシ	北海道	天然	令和 5 年 9 月 28 日	不検出
ヒラメ	青森県	天然	令和 5 年 9 月 28 日	0.07

4 自然毒検査

貝毒検査

令和5年7月から9月までの貝毒検査は、下痢性、麻痺性ともに国産9検体、輸入3検体、合計12検体、3種の貝について実施しました。LC/MS/MSによる機器分析法により下痢性貝毒、マウス法により麻痺性貝毒を検査した結果、規制値を超過した検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

貝毒の規制値

- 下痢性貝毒は1kgあたり0.16mgオカダ酸当量(注釈1)以下
- 麻痺性貝毒は1gあたり4マウスユニット(注釈2)以下

注釈1:オカダ酸当量とは、測定で得られたオカダ酸、ジノフィシストキシン-1、ジノフィシストキシン-2の検出値に係数を乗じた値の総和のことを言います。

注釈2:マウスユニットとは、貝およびフグ等様々な毒素の影響量に対する単位のことを言います。麻痺性貝毒の場合、体重20グラムのマウスが15分で死亡する毒力が1マウスユニットと定義されています。

貝毒検査結果

下痢性貝毒検出値:検体1kgあたりのmg数(PPM)

麻痺性貝毒検出値:検体1gあたりのマウスユニット

検体名	産地	収去日	下痢性貝毒検出値	麻痺性貝毒検出値
ホタテガイ	北海道	令和5年7月20日	不検出	1.75未満
ハマグリ	茨城県	令和5年7月20日	不検出	1.75未満
アカガイ	ロシア	令和5年7月20日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	青森県	令和5年7月20日	0.03	1.75未満
ホタテガイ	北海道	令和5年8月24日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	宮城県	令和5年8月24日	0.05	2.11
ハマグリ	茨城県	令和5年8月24日	不検出	1.75未満
アカガイ	韓国	令和5年8月24日	不検出	1.75未満
アカガイ	中国	令和5年9月21日	0.04	1.75未満
ホタテガイ	宮城県	令和5年9月21日	0.01	1.81
ハマグリ	千葉県	令和5年9月21日	不検出	1.75未満
ホタテガイ	宮城県	令和5年9月21日	0.04	1.92

6 動物用医薬品検査(抗生物質、合成抗菌剤、ホルモン剤、内寄生虫用剤等)

令和5年7月から9月までの動物用医薬品検査は、養殖魚5検体、うなぎ蒲焼5検体の計10検体について実施した結果、基準値を超える検体はありませんでした。

なお、収去(しゅうきょ)とは食品衛生法及び食品表示法に基づく食品等の抜き取り検査のことを言います。

動物用医薬品検査結果

検出値:検体1kgあたりのmg数(PPM)

検体名	産地	収去日	検出薬剤	検出値	基準値
ブリ(ワラサ)(養殖)	鹿児島県	令和5年7月6日	オキシテトラサイクリン	0.04	0.2
マダイ(養殖)	熊本県	令和5年7月6日	なし	不検出	なし
カンパチ(養殖)	鹿児島県	令和5年7月6日	なし	不検出	なし
ブリ(ハマチ)(養殖)	鹿児島県	令和5年7月6日	オキシテトラサイクリン	0.03	0.2
シマアジ(養殖)	高知県	令和5年7月6日	オキシテトラサイクリン	0.03	0.2
うなぎ蒲焼	中国	令和5年8月1日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼	中国	令和5年8月1日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼	中国	令和5年8月1日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼	中国	令和5年8月1日	なし	不検出	なし
うなぎ蒲焼	中国	令和5年8月1日	なし	不検出	なし